

V 保健所における母子保健事業

1. 家庭訪問指導状況

(表5-1)

種別 保健所		平成26年度							平成27年度						
		総 数	北 部 保 健 所	中 部 保 健 所	中 央 保 健 所	南 部 保 健 所	宮 古 保 健 所	八 重 山 保 健 所	総 数	北 部 保 健 所	中 部 保 健 所	那 覇 市 保 健 所	南 部 保 健 所	宮 古 保 健 所	八 重 山 保 健 所
妊産婦	実人員	705	0	0	705	0	0	0	1,036	1	4	1,031	0	0	0
	延人員	992	0	0	992	0	0	0	1,254	11	8	1,235	0	0	0
新生児 (未熟児を除く)	実人員	221	0	0	221	0	0	0	240	0	0	240	0	0	0
	延人員	240	0	0	240	0	0	0	249	0	0	249	0	0	0
未熟児	実人員	49	0	0	49	0	0	0	43	0	0	43	0	0	0
	延人員	55	0	0	55	0	0	0	47	0	0	47	0	0	0
乳児 (新生児・未熟児を除く)	実人員	496	0	1	491	4	0	0	649	1	0	648	0	0	0
	延人員	615	0	1	606	8	0	0	720	2	0	718	0	0	0
幼児	実人員	164	1	0	158	3	1	1	230	5	1	222	2	0	0
	延人員	267	1	0	247	17	1	1	323	6	2	310	5	0	0
長期療養児	実人員	174	17	46	43	31	21	16	202	26	56	30	62	19	9
	延人員	421	57	99	62	60	63	80	484	113	97	38	139	42	55
その他	実人員	148	1	0	141	3	1	2	131	0	1	128	1	1	0
	延人員	199	1	0	180	9	1	8	206	0	1	201	3	1	0
計	実人員	1,957	19	47	1,808	41	23	19	2,531	33	62	2,342	65	20	9
	延人員	2,789	59	100	2,382	94	65	89	3,283	132	108	2,798	147	43	55

資料：平成26・27年度地域保健・健康増進事業報告より

※平成25年度から中央保健所(那覇市、浦添市等)廃止

※那覇市は那覇市保健所に移管、那覇市保健所は45頁市町村別(那覇市)の再掲

2. 先天代謝異常検査等実施状況

(表5-2)

年度	先天代謝異常検査(4疾患)			クレチン症検査			先天性副腎過形成症検査			神経芽細胞腫検査						
	事業開始年	S52	S55	H元年	S59	検査件数	実施率	患者数	検査件数	実施率	患者数	検査件数	再検査数	陽性患者数		
11	16,680	17,609	105.6	0	17,609	105.6	342	9	17,609	105.6	44	0	11,925	418	17	5
12	16,773	17,576	104.8	43 ガラクトース血症1	17,576	104.8	269	6	17,576	104.8	54	2	11,525	548	11	0
13	17,169	17,635	102.7	35 ガラクトース血症1	17,635	102.7	420	11	17,635	102.7	81	0	12,300	550	16	0
14	16,571	17,160	103.6	21 ガラクトース血症2	17,160	103.6	324	6	17,160	103.6	111	1	11,811	245	9	5
15	16,303	16,970	104.1	61 ガラクトース血症2	16,970	104.1	287	15	16,970	104.1	100	6	9,214	355	8	5
16	16,362	17,077	104.4	53 フェニルケトン血症 ホモシチン血症 ガラクトース2	17,077	104.4	242	6	17,077	104.4	25	2				
17	16,115	16,721	103.8	54 フェニルケトン血症1	16,721	103.8	331	9	16,721	103.8	36	0				
18	16,483	17,156	104.1	61 フェニルケトン血症2	17,156	104.1	371	10	17,156	104.1	27	0				
19	16,588	17,305	104.3	51 フェニルケトン血症1	17,305	104.3	382	11	17,305	104.3	27	1				
20	16,736	17,601	105.2	51 ガラクトース血症	17,601	105.2	265	4	17,601	105.2	21	0				
21	16,744	17,351	103.6	60 ガラクトース血症1	17,351	103.6	306	18	17,351	103.6	24	1				
22	17,098	17,887	104.6	76 ガラクトース血症	17,887	104.6	352	16	17,887	104.6	20	2				
23	16,918	17,628	104.2	67 フェニルケトン血症、 ガラクトース血症3	17,628	104.2	326	9	17,628	104.2	23	2				
24	17,074	17,625	103.2	90 ガラクトース血症 ホモシチン血症4	17,625	103.2	337	10	17,625	103.2	34	1				
25	17,209	17,782	103.3	70 ガラクトース血症 ホモシチン血症5	17,782	103.3	275	17	17,782	103.3	54	2				
26 (4~9月)	8,299	8,634	104.0	43 ガラクトース血症3	8,634	104.0	93	8	8,634	104.0	17	1				

タンデムマス法導入以降の検査実施状況

タンデムマス法導入以降の検査実施状況	ガラクトース血症検査			クレチン症検査			先天性副腎過形成症検査			タンデムマス検査(16疾患)							
	検査件数	実施率	患者数	検査件数	実施率	患者数	検査件数	実施率	患者数	検査件数	実施率	患者数					
26 (10~3月)	8,241	8,532	103.5	210	1	8,532	103.5	320	8	8,532	103.5	239	1	8,532	103.5	212	高チロシン血症1
27	17,062	17,202	100.8	511	2	17,202	100.8	744	15	17,202	100.8	530	4	17,202	100.8	499	ガラクトース血症1型 GPT2/GACT欠損症 その他

※H26、10月からタンデムマス法による検査を実施(対象疾患が6疾患から19疾患へ)

※未熟児の再検査は検査件数に含まれるため、実施率が100%を超えることがある

※患者数には要経過観察者も含む

3.妊娠高血圧症候群(妊娠中毒症)等療養援護費支給状況

*妊娠高血圧症候群(妊娠中毒症)等療養援護費

妊娠高血圧症候群等にかかり7日以上入院した妊産婦に対し、所得階層に応じて医療費の一部を支給する。申請は各保健所で行う。

(表5-3)

年度	支給件数	入院延日数	疾病分類		
			妊娠高血圧症候群	糖尿病	その他合併症
平成12	12	177	12	—	—
13	10	158	6	2	2
14	9	134	5	1	3
15	7	104	6	—	1
16	8	142	5	1	2
17	12	184	7	5	0
18	4	41	3	0	1
19	11	156	8	0	3
20	9	90	8	1	0
21	10	142	8	0	2
22	8	123	5	0	3
23	5	71	5	0	0
24	3	47	0	3	0
25	3	39	1	2	0
26	1	21	0	1	0

4.平成26年度保健所別

妊娠高血圧症候群(妊娠中毒症)等療養援護費支給状況

(表5-4)

項目 保健所	支給件数	世帯階層区分				疾病名		
		A	B	C	D	妊娠高血圧症	糖尿病	その他合併症
北部保健所	0							
中部保健所	1		1				1	
那覇市保健所	0							
南部保健所	0							
宮古保健所	0							
八重山保健所	0							
計	1	0	1	0	0	0	1	0

※世帯階層区分A:生活保護世帯

B:市町村民税非課税世帯

C:所得税非課税世帯

D:所得税課税世帯の所得税年額15,000円以下の世帯

未熟児養育医療

出生体重が2000g以下の赤ちゃん又は生活力が特に薄弱なため入院を必要とする未熟児に対して、指定養育医療機関において必要な医療を給付する。

所得に応じて一部自己負担があり、申請は各市町村で行う。（平成25年度より市町村に権限委譲）

5. 養育医療券保健所別交付状況

(表5-5)

年度 保健所別	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
総数	495	469	491	423	399	462	405	460	507	520	481	514	497	465
北部	39	45	50	43	29	38	31	33	36	47	33	38	32	36
中部	179	188	196	174	160	178	146	182	213	197	197	186	182	172
中央	126	110	128	93	105	121	117	128	107	144	129	148	151	129
南部	109	72	83	73	73	90	71	76	109	89	86	90	100	96
宮古	19	23	18	20	12	14	22	20	13	16	15	38	18	17
八重山	23	31	16	20	20	21	18	21	29	27	21	14	14	15

※未熟児養育医療は平成25年度より市町村に権限委譲

6. 養育医療券体重別交付状況

(表5-6)

年度 体重別	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
総数	495	469	491	423	399	462	405	460	507	520	481	514	497	465
1,000g以下	54	58	81	46	59	66	53	48	61	63	66	67	74	78
1,001～1,500g	123	112	108	113	96	115	120	110	122	119	113	84	112	72
1,501～2,000g	245	227	243	211	205	235	196	243	250	244	226	280	243	257
2,001～2,500g	56	60	46	38	34	40	31	51	59	67	63	66	56	49
2,501g以上	17	12	13	15	5	6	5	8	15	27	13	17	12	9

※未熟児養育医療は平成25年度より市町村に権限委譲

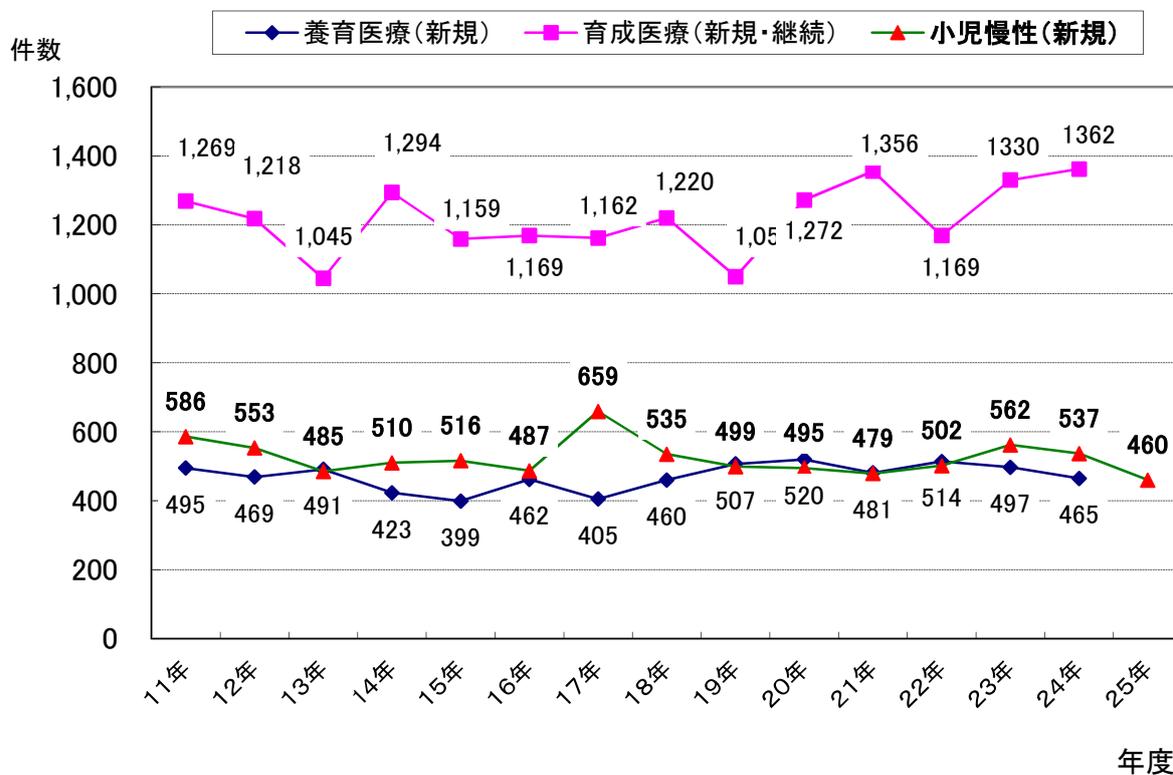
7. 養育医療給付状況

(表5-7)

年 度	実 人 員	延 件 数	延 日 数
平成10年	488	1,143	22,343
11年	515	1,217	22,979
12年	504	1,144	21,467
13年	529	1,279	23,887
14年	438	1,134	21,304
15年	410	1,033	19,442
16年	469	1,125	21,223
17年	424	1,177	21,943
18年	468	1,161	21,143
19年	519	1,318	24,459
20年	525	1,308	24,297
21年	492	1,284	23,869
22年	521	1,319	24,074
23年	508	1,226	22,391
24年	474	1,248	22,851

※平成25年度より市町村に権限委譲

8. 医療券交付の年次推移 (図5-1)



※養育医療・育成医療は平成25年度より市町村に権限委譲されている

育成医療

身体に障害のある18歳未満の児童に対する治療費の公費負担制度で、比較的短期間に治療できる障害者に対して、指定医療機関において必要な医療を給付する。

所得に応じ一部自己負担があり、申請は、各市町村で行う。（平成25年度より市町村に権限委譲）

障害区分：①肢体不自由②視覚障害③聴覚・平衡機能障害④音声・言語・咀嚼機能障害
⑤内臓障害（心臓・内臓等）⑥免疫機能障害

9. 育成医療受診券交付状況(年度別)

(表5-8)

障害別 \ 年度	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年
計	1,218	1,045	1,294	1,301	1,223	1,162	1,220	1,050	1,272	1,356	1,169	1,330	1,362
肢体不自由	151	123	182	206	173	153	194	187	251	256	236	267	286
視覚障害	87	74	62	70	71	118	75	39	71	83	60	61	53
聴覚平衡機能障害	47	41	82	79	73	54	53	62	83	77	82	60	59
音声言語機能障害	190	179	176	172	177	170	267	196	211	255	218	245	239
内臓障害	743 (100)	628 (110)	792 (108)	774 (131)	729 (125)	667 (115)	631 127	566 162	656 (178)	685 (201)	573 (158)	697 (194)	725 (225)

※()は心疾患で再掲

平成9年度以降は、申請件数が1,000件以上で平成22年度は、平成21年度より187件の減となっている。申請件数の中では、内臓障害が573件で全体の約49%を占めている。

10. 小児慢性特定疾病医療費助成制度 医療受給者証新規交付状況

平成27年3月1日～平成28年2月28日申請分

(表5-11)

年度 対象疾患名	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
総数	485	510	516	487	659	535	499	495	479	502	562	537	460	422	512
悪性新生物	51	55	53	64	53	47	47	54	39	36	47	15	33	24	42
慢性腎疾患	60	55	62	42	74	41	38	41	36	35	42	41	34	42	38
慢性呼吸器疾患	29	30	31	30	78	55	36	41	33	39	52	78	51	44	53
慢性心疾患	81	77	75	72	156	95	95	107	107	111	139	149	105	86	112
内分泌疾患	137	140	174	179	158	159	169	160	169	203	168	159	159	147	149
膠原病	35	39	37	18	45	60	50	36	32	25	39	22	12	18	15
糖尿病	25	31	32	22	30	15	17	12	16	8	18	24	22	10	10
先天性代謝異常	20	26	11	20	20	12	13	12	8	14	14	12	20	6	8
血液疾患	34	44	32	35	17	22	17	11	13	14	15	9	6	10	3
免疫疾患(※)														3	2
神経・筋疾患	13	13	9	5	22	24	12	15	16	17	22	21	13	22	52
慢性消化器疾患					6	5	5	6	10	0	6	7	5	5	17
染色体又は遺伝子に 変化を伴う症候群(※)														4	11
皮膚疾患(※)														1	0

(※)平成27年1月1日より新たに追加された疾患群

11. 保健所別小児慢性特定疾病医療受給者証新規交付状況

(表5-12)

対象疾患名 保健所名	計	悪性新生物	慢性腎疾患	慢性呼吸器疾患	慢性心疾患	内分泌疾患	膠原病	糖尿病	先天性代謝異常	血液疾患	免疫疾患	神経・筋疾患	慢性消化器疾患	染色体又は遺伝子に 変化を伴う症候群	皮膚疾患
計	512	42	38	53	112	149	15	10	8	3	2	52	17	11	0
北部保健所	48	6	4	3	8	8	3	1	2	1	1	8	1	2	0
中部保健所	243	19	13	26	58	72	8	6	2	1	1	21	9	7	0
南部保健所	184	13	17	23	39	59	2	3	3	1	0	17	5	2	0
宮古保健所	12	2	1	0	1	5	1	0	0	0	0	1	1	0	0
八重山保健所	25	2	3	1	6	5	1	0	1	0	0	5	1	0	0

※平成25年度に那覇市の中核市移行のため、那覇市保健所分の実施主体是那覇市

12. 小児慢性特定疾病医療給付状況

(表5-13)

対象疾患名		実人員 (人)	延件数 (件)
計		3,245	29,756
悪性新生物	入院	97	422
	通院	198	1,720
慢性腎疾患	入院	80	212
	通院	212	2,669
慢性呼吸器疾患	入院	137	374
	通院	239	3,249
慢性心疾患	入院	181	428
	通院	515	5,603
内分泌疾患	入院	36	69
	通院	825	7,809
膠原病	入院	17	35
	通院	73	869
糖尿病	入院	20	35
	通院	96	1,366
先天性代謝異常	入院	24	73
	通院	95	1,159
血液疾患	入院	13	47
	通院	60	682
免疫疾患	入院	32	107
	通院	105	1,399
神経・筋疾患	入院	44	102
	通院	95	1,036
慢性消化器疾患	入院	10	35
	通院	21	147
染色体又は遺伝子に 変化を伴う症候群	入院	6	13
	通院	12	71
皮膚疾患	入院	1	4
	通院	1	21

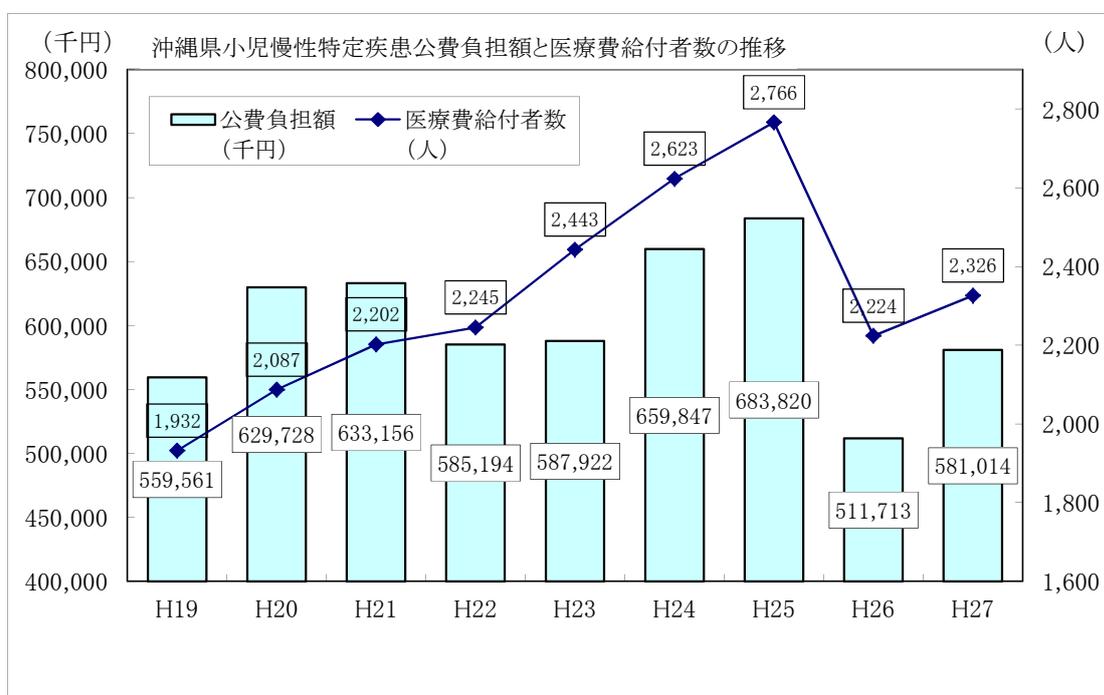
平成26年3月～平成27年2月診療に係る件数(請求ベース)

13. 小児慢性特定疾病医療費助成制度実績報告 小慢性特定疾病公費医療負担額及び受給者数の推移

(1) 全体の推移

年度								那覇市を除く	
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
公費負担額 (千円)	559,561	629,728	633,156	585,194	587,922	659,847	683,820	511,713	581,014
公費負担額 前年度比(%)	-	12.5	0.5	-7.6	0.5	12.2	3.6	-	13.5
医療費給付者数 (人)	1,932	2,087	2,202	2,245	2,443	2,623	2,766	2,224	2,326
医療費給付者数 前年度比(%)	-	8.0	5.5	2.0	8.8	7.4	5.5	-	4.6

※H25まで那覇市を含む。



<参考>

- *平成18年4月 南部医療センター・こども医療センター開院
- *平成21年5月 健康保険法施行令等の一部改正
高額療養費を支給する際の自己負担限度額が、一律から所得に応じた額へ変更
- *平成25年より、那覇市中核市移行
- *平成27年1月1日新制度に移行
<主な変更点>
 - 1 入院のみから通院も対象となった
 - 2 対象疾患が見直され、14疾患群704疾病となった
 - 3 自己負担額の算定方法が変更された
 - 4 指定医療機関・指定医制度
 - 5 義務的経費化

【参考】 小児慢性特定疾病月額自己負担上限額階層区分別受給者数 (単位:人)

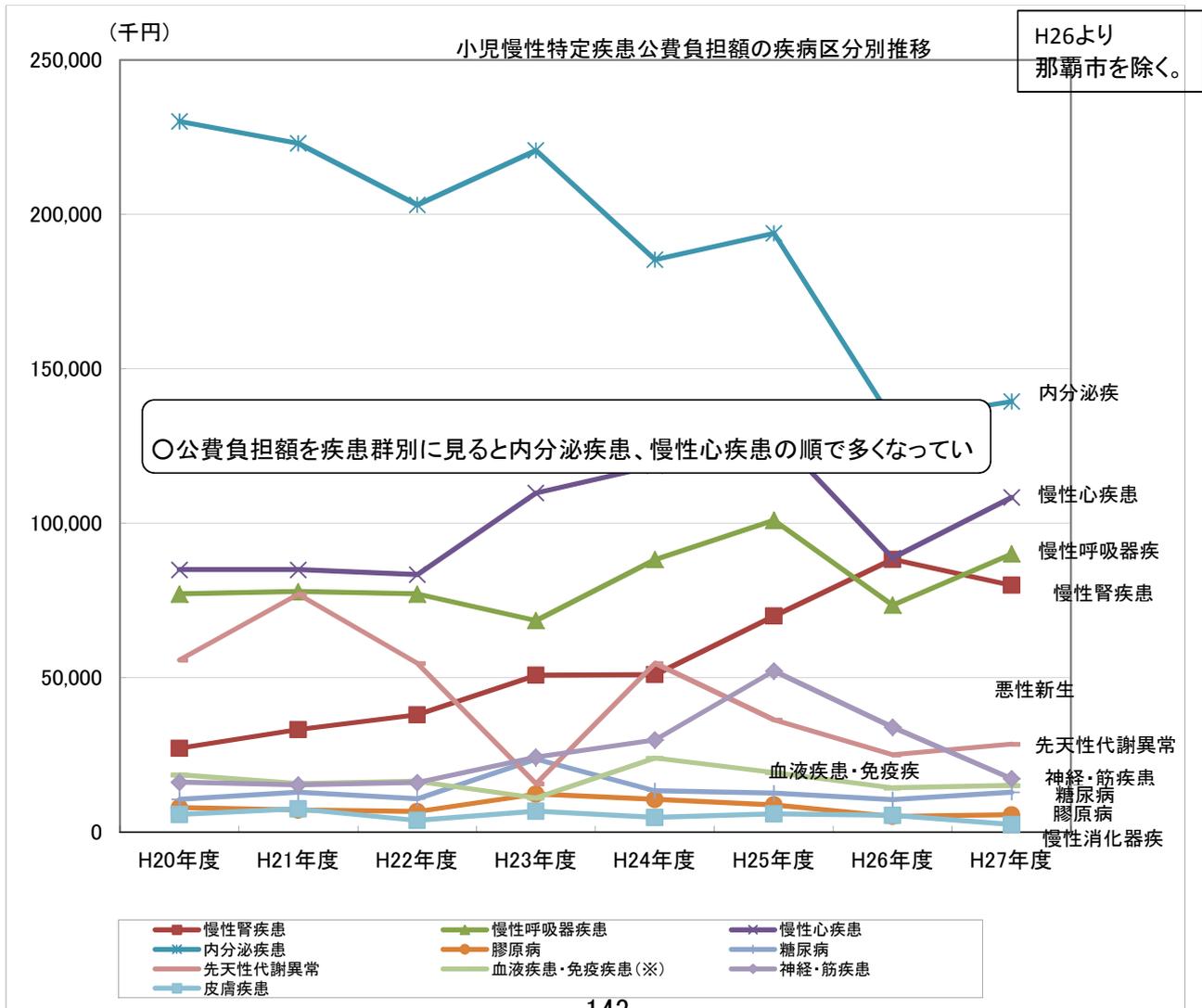
調査日	0円	500円	1,250円	2,500円	5,000円	10,000円	15,000円	合計	備考
2016年6月16日	62	66	378	899	665	232	20	2,322	4月新規承認後
2017年12月9日	52	73	308	770	611	292	21	2,127	10月新規承認後

(2) 疾患群別公費負担額の推移

(単位:千円)

疾患群	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
悪性新生物	95,851	78,546	75,201	44,153	79,248	54,478	33,330	41,532
慢性腎疾患	27,157	33,183	37,983	50,812	51,000	69,975	88,292	79,921
慢性呼吸器疾患	77,084	77,879	77,090	68,530	88,290	101,010	73,508	90,099
慢性心疾患	84,979	84,980	83,395	109,843	118,666	129,292	88,782	108,393
内分泌疾患	230,070	223,000	203,085	220,715	185,367	193,840	133,325	139,439
膠原病	7,882	7,121	6,643	12,366	10,593	8,830	5,167	5,620
糖尿病	10,595	12,931	10,781	23,681	13,373	12,610	10,514	12,886
先天性代謝異常	55,709	76,990	54,665	15,670	54,698	36,368	25,068	28,532
血液疾患・免疫疾患 (※)	18,584	15,687	16,495	11,083	24,042	19,358	(血)14,332 (免)	(血)15,074 (免)43,861
神経・筋疾患	16,139	15,286	16,100	24,277	29,845	52,178	33,992	17,274
慢性消化器疾患	5,678	7,553	3,756	6,792	4,725	5,880	5,403	2,483
染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	-	-	-	-	-	-	-	1,745
皮膚疾患	-	-	-	-	-	-	-	155
合計	629,728	633,156	585,194	587,922	659,847	683,819	511,713	587,014

※平成27年の制度改正により、旧「血友病等血液・免疫疾患」は血液疾患と免疫疾患に疾患群が分かれた

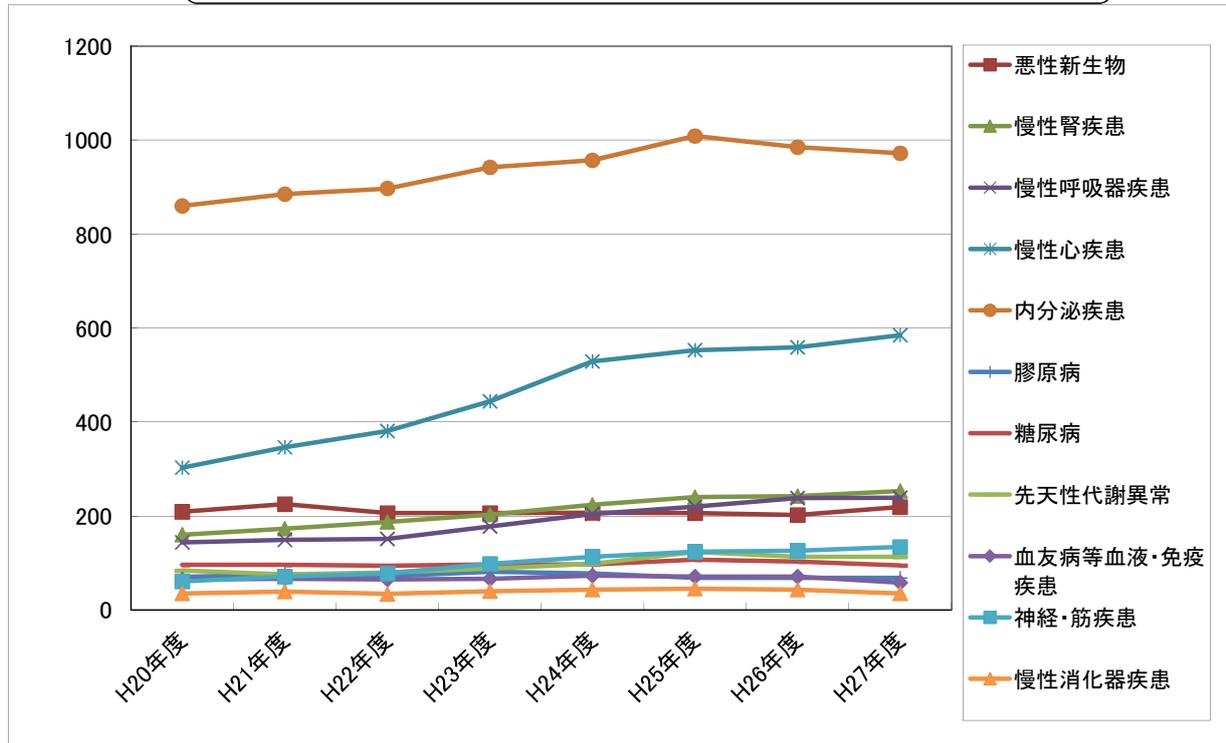


(3) 疾患群別医療費受給者数の推移

(単位:人)

疾患群	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	対前年度	
									増減数	増減率
悪性新生物	209	225	206	206	207	206	202	219	17	7.8%
慢性腎疾患	160	173	187	203	224	240	242	253	11	4.3%
慢性呼吸器疾患	144	149	151	178	204	220	238	239	1	0.4%
慢性心疾患	303	346	381	444	529	553	559	585	26	4.4%
内分泌疾患	860	885	897	942	957	1009	985	972	△13	△1.3%
膠原病	70	76	72	81	78	68	68	68	0	0.0%
糖尿病	96	96	94	97	97	107	103	95	△8	△8.4%
先天性代謝異常	84	76	80	88	98	123	113	113	0	0.0%
血友病等血液・免疫疾患	65	66	65	66	73	71	71	58	△13	△22.4%
								84		
神経・筋疾患	61	71	78	98	113	124	126	134	8	6.0%
慢性消化器疾患	35	39	34	40	43	45	43	35	△8	△22.9%
染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群								10	9	47.4%
皮膚疾患								1	1	0.0%
合計	2,087	2,202	2,245	2,443	2,623	2,766	2,761	2,875	114	4.0%

○平成25年度より那覇市中核市移行のため、実数は下がっているが、県全体としては増加傾向である。



1 4. 特定不妊治療費助成事業の実績

1 目的

特定不妊治療（体外受精および顕微授精）に要する経費の一部を助成することにより、子どもを望む夫婦の経済的負担の軽減を図る。

2 助成実績

(表 5-14)

年度	助成組数	助成件数	助成額 (千円)	助成内容
H17	194	194	19,117	1回10万円まで 年1回、通算2年間
H18	350	350	34,593	1回10万円まで 年1回、 <u>通算5年間</u>
H19	394	588	55,839	1回10万円まで <u>年2回</u> 、通算5年間
H20	417	655	60,382	1回10万円まで 年2回、通算5年間
H21	582	1,023	115,050	<u>1回15万円まで</u> 年2回、通算5年間
H22	589	894	114,247	1回15万円まで 年2回、通算5年間
H23	754	1,178	152,942	1回15万円まで 年2回(<u>初年度は3回</u>)、通算5年間(<u>合計10回</u>)
H24	845	1,391	183,346	1回15万円まで 年2回(<u>初年度は3回</u>)、通算5年間(<u>合計10回</u>)
H25	873	1,402	174,604	1回15万円まで (C・Fについては7.5万円まで) 年2回(<u>初年度は3回</u>)、通算5年間(<u>合計10回</u>)
H26	896	1,471	179,951	1回15万円まで (C・Fについては7.5万円まで) 年2回(<u>初年度は3回</u>)、通算5年間(<u>合計10回</u>) ※新規で40歳未満の方を除く
H27	980	1,541	202,571	平成28年1月20日以降に治療終了し、 初回申請の場合に上限30万円(C・F除く)。男性不妊治療を行った場合、別途15万円まで助成(C除く)。

※指定医療機関は、①ウィメンズクリニック系、②うえむら病院、③豊見城中央病院、
 ④やびく産婦人科・小児科、⑤琉球大学医学部附属病院、
 ⑥アドベンチストメディカルセンター、⑦空の森クリニック

3 申請状況

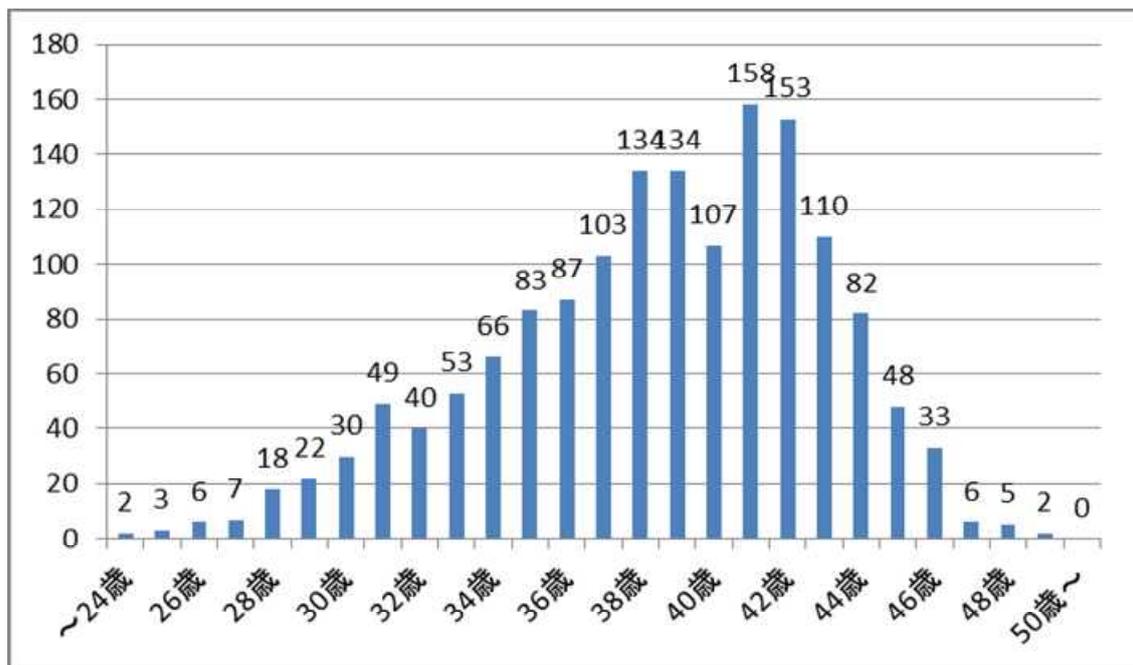
(1) 申請者の状況

(表 5-15)

	H27	H26
平均年齢	夫 (39.7 歳) 妻 (38.3 歳)	夫 (40.1 歳) 妻 (38.9 歳)
平均治療費 (申請額)	316,680 円	288,622 円
平均助成額 (交付決定額)	124,233 円	122,332 円

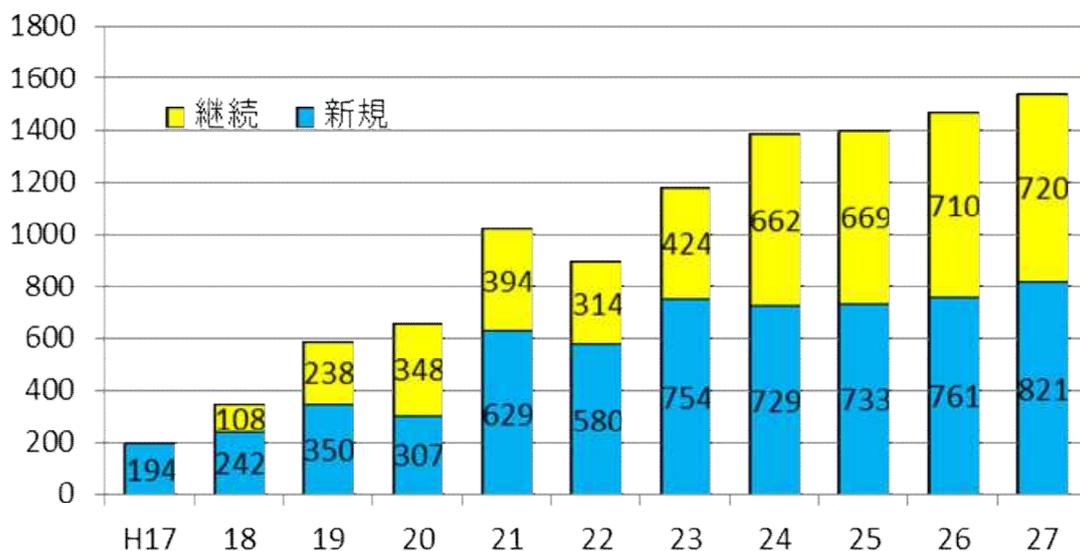
(2) 申請者 (妻) の年齢分布

(図 5-3)



(3) 申請件数

(図 5-4)



(4) 特定不妊治療実績 (指定医療機関集計)

(表 5-16)

年度	治療区分	患者総数	治療周期総数	採卵回数	移植総数	妊娠数
H17		482	689	636	370	59
H18		535	784	727	384	81
H19		580	902	786	471	101
H20		602	830	748	436	85
H21	(新鮮胚)	515	779	691	280	48
	(凍結胚)	499	855	—	742	134
H22	(新鮮胚)	843	1,224	1,116	414	72
	(凍結胚)	630	1,065	—	987	199
H23	(新鮮胚)	1,014	1,396	1,562	408	82
	(凍結胚)	784	1,224	—	1,180	262
H24	(新鮮胚)	1,098	1,504	1,313	437	89
	(凍結胚)	879	1,339	—	1,251	279
H25	(新鮮胚)	1,099	1,565	1,460	511	98
	(凍結胚)	1,090	1,612	—	1,563	381
H26	(新鮮胚)	1,352	1,886	1,764	515	102
	(凍結胚)	1,242	1,570	—	1,712	426
H27	(新鮮胚)	1,457	2,125	1,887	629	113
	(凍結胚)	1,455	2,210	—	2,134	608

※指定医療機関からの報告に基づき集計 (暦年)。